

5. 東海（地域別調査機関：（株）UFJ総合研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	商店街（代表者）	お客様の様子	・当店（100円コンビニショップ）のランチアイス店が非常に増えている。
		百貨店（企画担当）	販売量の動き	・台風で閉店時間を早くした日があるなど売上に影響は出ているが、その一方で地元プロ野球チームの優勝セールは予想以上に好調である。
	やや良く なっている	乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・法人による車の買い換えや増車が目立つ。今までにない傾向である。商談時にも、業績が上向きとの話をよく聞く。
		都市型ホテル（支配人）	販売量の動き	・今月は国際的な会議やイベントが開催され、名古屋市内のホテル需要は向上している。
	都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・宿泊稼動がアップしており、婚礼宴会も増えている。	
	旅行代理店（経営者）	来客数の動き	・来客数は増加している。	
	通信会社（企画担当）	販売量の動き	・キャンペーン端境期であるのに、問い合わせがコンスタントにある。また新規契約数も上向きである。	
	美容室（経営者）	それ以外	・3か月前は暑さのため来店が少なかったことも影響して、10月に入って涼しくなるとパーマの客が増えている。	
	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・相次いで台風が上陸したうえ新潟県中越地震も発生したため、風水害に対応した建物の受注が多くなっている。	
	変わらない	商店街（代表者）	それ以外	・売上の良い日と悪い日が極端である。また、台風の影響で何日か閉店する店も出ている。
		商店街（代表者）	販売量の動き	・来客数、販売量ともに変化がない。通常なら販売量が増える時期なのに、季節商品が全く動かない。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・ある程度のお金を出す客は年金生活者に限られている。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	それ以外	・切り花の価格高騰が続いているが、販売価格に転嫁できないため利益率が落ちている。
		一般小売店〔時計〕（経営者）	来客数の動き	・来客数が少ない。客に購買意欲も感じられない。
		百貨店（売場主任）	競争相手の様子	・月前半は地元プロ野球チームの優勝セールがあり、来客数も多く売上もまずまずである。しかしその後は、以前に比べても平日昼間の客がまばらとなり来客数が減っている。
		百貨店（売場主任）	お客様の様子	・地元プロ野球チームの優勝セールでは、セール初日から数日間の来客数は多かった。しかしその後は客の購買動向は平常に戻っている。台風の影響もあり、実質的にはさほど変わっていない。
		百貨店（経理担当）	販売量の動き	・地元プロ野球チームの優勝セールの影響で来客数は前年をオーバーしているが、景気が良くなっているとは判断できない。
		スーパー（経営者）	お客様の様子	・製造業関係に勤めている客の買物は増えているが、流通関係の客からは景気が上向いているとの声は聞こえてこない。
		スーパー（店長）	単価の動き	・来客数は伸びているが、客単価は依然として96%前後と低迷している。売上は前年並みがやっとの状況である。
スーパー（仕入担当）		単価の動き	・天候不順と台風の影響で野菜、果物など青果物の相場が高騰しており、野菜を使った料理は主婦層から敬遠されている。しかし地元プロ野球チームの優勝セールでは、66円セールなどが客動員に貢献し、売上を戻している。	
コンビニ（エリア担当）		販売量の動き	・台風や週末の天候不順の影響でおでん、中華まんは不振であるが、米飯を中心に売上は安定している。	
コンビニ（エリア担当）	それ以外	・競合は引き続き厳しく、売上の前年比は96%台である。		
コンビニ（店長）	来客数の動き	・台風や雨の日が多く、来客数は減っている。		
コンビニ（店長）	来客数の動き	・当店の主力商品である弁当が良く伸びている。		

	コンビニ（店長）	販売量の動き	・台風など雨の日が多く、来客数は減少している。しかし先月から引き続き客単価が上昇しており、売上は前年並みをなんとか維持している。
	コンビニ（売場担当）	単価の動き	・新規出店分を含めた会社全体の売上は前年比102%、既存店の売上は99.6%であるが、これはほぼ前年並みである。
	家電量販店（経営者）	お客様の様子	・台風の影響もあり、売上は少し減少している。
	家電量販店（店員）	販売量の動き	・前年比では好調であるが、3か月前と比較するとむしろ失速気味である。
	乗用車販売店（経営者）	競争相手の様子	・同業者が値引き競争をしている影響が出ている。
	乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・客との会話では特別に悪い印象はないのだが、売行きは良くない。
	自動車備品販売店（経営者）	競争相手の様子	・競合店との価格競争によって価格を下げているため、全体の売上が伸びていない。新たな競合店として、自動車ディーラー店、中古部品の販売店やインターネット販売が台頭している。
	住関連専門店（営業担当）	販売量の動き	・民間の設備投資はおう盛であるが、持ち家住宅と公共工事が減少傾向である。
	その他専門店〔雑貨〕（店員）	来客数の動き	・来客数は前年並みであるが、客単価は低下傾向である。
	観光型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・法人の宴会や婚礼宴会は依然として簡素化が進んでおり、収益は落ち込んでいる。
	都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・一喜一憂する状況が続いている。
	旅行代理店（経営者）	単価の動き	・受注量が減少している。発生のスピードも顕著に遅くなっている。
	旅行代理店（経営者）	単価の動き	・力強い動きはみられない。将来に不安を抱えながらの動きである。
	タクシー運転手	来客数の動き	・半年前とほとんど変化がなく、悪いままで横ばいの状況である。
	タクシー運転手	来客数の動き	・夜の街は静かであるという話を客から聞く。
	タクシー運転手	お客様の様子	・名古屋の地下鉄名城線が環状線として開通し、新線のおおなみ線も開通した影響で、昼夜ともに客が減っている。
	タクシー運転手	来客数の動き	・台風や地震といった自然災害が相次いでおり、客は無駄なことを省いている。
やや悪くなっている	商店街（代表者）	販売量の動き	・売上が低迷している。
	商店街（代表者）	販売量の動き	・台風の影響で来客数と販売量が減少している。また原油価格の高騰の影響が2次製品にも波及しており、値上げ要請が来ている。
	一般小売店〔土産〕（経営者）	来客数の動き	・台風で近隣の河川もはん濫したが、全国各地で水害や新潟県中越地震など天災が相次いでいる。その影響で観光客は減少している。
	一般小売店〔酒〕（経営者）	販売量の動き	・飲食店からの注文が秋以降減少している。また、商店街の秋のイベントでは、人出は多かったが売上に結び付いていない。
	一般小売店〔薬局〕（経営者）	お客様の様子	・台風による大雨、地震などの影響で生鮮食料品の価格が値上がりしている。
	百貨店（企画担当）	販売量の動き	・地元プロ野球チームの優勝セール期間中は好調だったが、月中旬まで気温が平年より高かったことや台風の影響で苦戦している。
	百貨店（企画担当）	単価の動き	・3回も台風が来た影響で、来客数と売上が打撃を受けている。地元プロ野球チームの優勝セールは一時的に盛り上がったが、かえって単価が下がる結果となっている。
	百貨店（外商担当）	来客数の動き	・台風の影響で予定を大幅に下回っている。地元プロ野球チームの優勝セールで多少助けられてはいるが、このようなプラス材料があっても衣料品を中心に商品は動いていない。

スーパー（経営者）	販売量の動き	・台風が多かった影響で、リンゴ、ナシ、カキなどは全滅に近い。品薄で販売する商品がなく、価格も上がり客は離れている。
スーパー（経営者）	販売量の動き	・台風による被害が大きく、生鮮品の価格も異常なほど高値が続いており、一般家庭で消費できる金額ではない。業務用も冷凍品などで代用するしかなく、販売量は激減している。
スーパー（店長）	来客数の動き	・雨の日が多く、来客数は著しく減少している。
スーパー（店員）	販売量の動き	・台風や競合店の売り出し、セールなどの影響で、売上は思わしくない。
スーパー（店員）	販売量の動き	・台風の影響で野菜が著しく高騰しており、商品数がかなり減っている。
スーパー（総務担当）	来客数の動き	・来客数が5.8%減少し、客単価も2.0%低下している。
コンビニ（経営者）	販売量の動き	・気温が下がり、ビールやソフトドリンクだけを購入する客は減っている。そのため客単価は少し上昇しているが、来客数は大きく減少し、全体の売上も減少している。
コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・客単価の低下が各分野で見られる。菓子では有名メーカーの新商品はヒットしておらず、低単価の無名ブランド商品が売上を伸ばしている。雑貨などでは、量販店の影響もありほぼすべての分野で前年割れを起こしている。比較的好調な弁当も、低単価商品の割合が今までにないほど上昇している。
衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・客単価の低下に加えて、来客数の減少も響いている。
家電量販店（店員）	来客数の動き	・客単価はやや高めに出ているが、来客数が減少しており売上に影響している。
乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・購入単価は上昇しているものの、問い合わせや来客数は激減している。
乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・秋のボーナス商戦を控えて、来客数はあるが、月中旬以降商談が長引くケースが増えている。例年ならこの時期には盛り上がりを感じるが、今は全く感じられない。
その他専門店〔雑貨〕（店員）	お客様の様子	・暖冬の影響により冬物、防寒商品の売上が前年比約60%と大幅に下回っている。
その他小売〔雑貨卸〕（経営者）	お客様の様子	・商品の動きが悪い。卸会社は在庫を持たず、必要最小限の注文しか来ない。また卸先の支払も悪い。
高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・常連客の予約は底固いが、一般客は各種のイベントや販促策にもかかわらず勢いが弱くなっている。
スナック（経営者）	来客数の動き	・街の人通りが少ない。また台風の影響で営業日数も減り、来客数減少につながっている。
その他飲食〔仕出し〕（経営者）	それ以外	・酷暑と台風の影響で原料が高騰し、満足いく商品を提供できない。
都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・個人利用が大幅に減っている。
旅行代理店（経営者）	来客数の動き	・来客数の動きが非常に乏しくなっている。11月以降4か月間の予約も、前年比85%ほどで推移している。特に4～5か月先の予約は前年の60%を割り込んでいる。
旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・今日は台風などの災害が多く、外出を控える客が非常に多い。キャンセルなども多く発生している。
タクシー運転手	お客様の様子	・台風、地震などの天災が原因の旅行取消や延期、旅行計画の見直しが発生している。取消料を取る訳にもいかず、取扱量、金額ともに突然減少している。例年の10月と比べても多少ではあるが減少している。
パチンコ店（店長）	来客数の動き	・今月は相次ぐ台風により公共交通機関が止まらないうちに帰宅する人が多く、またプロ野球の日本シリーズを自宅でテレビ観戦する人も多かったため、客数に影響が出ている。
美容室（経営者）	お客様の様子	・夏季休暇明け以降、客単価、客稼働率ともに下降線を描いている。
		・客の回転が悪い。また、近隣に安い理髪店ができたため、売上に響いている。

		住宅販売会社（経営者）	競争相手の様子	・土地建物の売行きが悪い。他の業者も同様の状況である。
		住宅販売会社（企画担当）	来客数の動き	・客からの問い合わせ件数がかかり減ってきている。
	悪くなっている	商店街（代表者）	競争相手の様子	・同じ商品を安く売るスーパーが増えて、ますます苦しくなる一方である。
		コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・台風などが相次ぐ割に来客数はそれほど減少していないが、単価の低下が顕著である。弁当、おにぎりなども10円や20円の差で高い商品は売れなくなってきている。ガソリン価格の上昇も多少影響している。
		乗用車販売店（従業員）	それ以外	・販売量の推移や客の様子をみると、高級車は売りづらくなっている。客の志向は車体価格が安く維持費も安い経済的な車にますます移行しつつある。
		その他小売〔貴金属〕（経営者）	販売量の動き	・大雨、連続する台風や地震による不安感で、消費者は守りの姿勢になっている。買物を楽しむ余裕がなさそうである。
		美容室（経営者）	競争相手の様子	・新しい美容室がどんどん開店しており、常連の客も来店しなくなっている。
企業動向関連	良くなっている	化学工業（企画担当）	それ以外	・現在生産ラインの人材を募集しているが、なかなか人が集まらない。請負会社も同様である。愛知では中部国際空港、愛知万博、大手自動車メーカーの好調により人手不足となっている。
	やや良くなっている	電気機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・年末、年度末を控えて、工事案件の受注量が増えている。
		輸送用機械器具製造業（経理担当）	取引先の様子	・単価の高い高付加価値製品の売行きも悪くない状況である。
		輸送用機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注の引き合いが多く出てきている。
		輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・年末商戦に向けて貨物は増加している。 ・アメリカ西海岸で船の貨物が停滞している影響で、航空貨物は非常に景気が良い。
		金融業（企画担当）	取引先の様子	・メーカー系企業では、前年度より売上が増えている企業が少しずつみられる。
		公認会計士	それ以外	・顧客企業では、単年度利益が黒字の会社が増えている。社内だけでは間に合わず、外注費が増加している会社も増えている。
		その他サービス業〔ソフト開発〕（社員）	受注価格や販売価格の動き	・新規取引先が増えている。
	変わらない	印刷業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・受注量、販売量とも減少している。前年比でも売上は減少している。
		化学工業（人事担当）	受注価格や販売価格の動き	・受注量、販売価格とも変化はみられない。
		一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・台風の影響で機械が壊れたところもあり、仕事量は多少増えている。
		一般機械器具製造業（経理担当）	受注価格や販売価格の動き	・原油価格や鋼材価格の高騰に伴い、販売価格への転嫁交渉に時間を取られ納期交渉が後回しになっているため、生産に影響が出てきている。さらに、新潟県中越地震の影響で、取引先から納期の延期要請も出てきている。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・売上は3か月前とほぼ同水準であるが、国内外で競争激化の影響が出始めている。国内では、競争激化に伴い当社に発注内示されていた案件が取消されたり、受注している大口案件の納品が延期になったりしている。海外でも、米国向けの売上でカバーはしているものの、競合他社との価格競争が厳しい。
		電気機械器具製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・アパレル縫製関連は安定していないが、自動車関連はやや好調である。
		電気機械器具製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・競合他社に奪われた客があった反面、取り戻した注文もあり、プラスマイナスはゼロである。
		輸送用機械器具製造業（統括）	取引先の様子	・主力取引先の自動車メーカーが販売不振に陥っているが、必死で立て直しを図っている。
		建設業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・受注単価は引き続き厳しい。収益面から受注量より採算を重視し、受注しない案件もある。

		輸送業（エリア担当）	競争相手の様子	・同業の4～5社の話では、荷物の量は昨年よりも減少している。
		広告代理店（経営者）	競争相手の様子	・愛知万博関連などで多忙な業者も多いが、安価な契約で高品質のサービスを提供しなくてはならないため、収益に結び付かないという話もよく耳にする。
		広告代理店（経理担当者）	取引先の様子	・契約件数、問い合わせ件数とも横ばいである。取引先はあまり活発に動いていない。
		広告代理店（制作担当）	取引先の様子	・電波媒体、紙面媒体とも、新企画が顧客企業から受け入れられることは少なく、状況はあまり変わっていない。
		税理士	取引先の様子	・メーカー、サービス業は横ばいであるが、天候不順の影響で小売業、飲食業は落ち込んでいる。建設関連も公共事業が回ってこないため状況は良くない。
		その他非製造業 [デザイン] (経営者)	受注量や販売量の動き	・現行商品の出荷が順調である。
		その他非製造業 [ソフト開発] (経営者)	取引先の様子	・取引先の設備投資は相変わらず続いているが、中国やタイ向けの仕事が多く日本の空洞化は避けられない。
やや悪くなっている		パルプ・紙・紙加工品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注量、販売量ともに5%程度減少している。
		鉄鋼業（経営者）	受注量や販売量の動き	・鋼材価格の急騰により、売上は前年比で増加しているが、販売量は減少している。また、鋼材価格上昇の動きが急であるため、価格転嫁できない中小企業を中心に信用不安を抱える取引先が出てくる可能性もある。
		金属製品製造業（従業員）	受注価格や販売価格の動き	・ゼネコンから厳しい価格要請が続いている。
		輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・相次ぐ台風など自然災害の影響で荷動きが非常に悪い。石油製品の価格高騰も景気を悪くする要因になりつつある。
		輸送業（エリア担当）	それ以外	・トラック燃料の軽油がこの半年余りで1リットル当たり9円値上がりし、燃料費は14.7%も増えている。軽油の値上がりはまだ続く気配であるが、売上に占める燃料費の割合が当社では既に15.2%に上昇し、トラック業者の危険水準である1割を大きく上回っている。それでも、運賃の値上げができないでいる。
		経営コンサルタント	取引先の様子	・ディベロッパーの宅地開発状況は、大企業は良いが、中小企業はまだ手控えている。
		会計事務所（職員）	取引先の様子	・台風の影響で野菜など農作物が高騰する一方で、原油高によりガソリン、軽油など石油製品も値上がりしているため、小売店や消費者にも大きな影響を与えている。
悪くなっている		窯業・土石製品製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・3か月前と比較して、今月は売上がマイナス9.6%、経常利益がマイナス13.7%と大幅な減収減益になっている。
		非鉄金属製品製造業[鋳物]（経営企画担当）	受注価格や販売価格の動き	・原材料価格が高騰しているが、それを販売価格に転嫁できない状況が続いている。
雇用関連	良くなっている	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・引き続き求人は活発である。ただし、企業の要望に合った人材が不足しているため、募集活動に力を入れてもなかなか集まらないのが現状である。
		職業安定所（所長）	求職者数の動き	・月間有効求職者は対前年比で13.1%減少している。離職理由でも、事業主都合による離職は大幅に減少している。
やや良くなっている		人材派遣会社（社員）	採用者数の動き	・派遣スタッフが相当数不足する状態が続いている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・自動車製造関連などが好調で、新規求人はアウトソーシングによる求人を中心として増加傾向にある。求職者が職安の窓口に来て求職者の紹介依頼をすることも多く、強い採用意欲が感じられる。

	職業安定所（職員）	求人数の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>管内の有効求人倍率は、3か月前に比べて月間有効求人が11.8%増加し、月間有効求職者が5.6%減少しているため、0.19ポイント上昇し1.26倍となっている。前月比では0.03ポイントの上昇である。</li> <li>業種別の新規求人は、前年同期比で建設業が15.6%、卸小売業が15%減少しているが、サービス業で35.1%、製造業で14.2%増加しているため、全体では9.7%増加している。</li> </ul>
	民間職業紹介機関（経営者）	採用者数の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>求人企業への転職者数が増加している。下半期の採用計画を上方修正する企業も目立っている。</li> </ul>
変わらない	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	雇用形態の様子	<ul style="list-style-type: none"> <li>技術系では正社員を募集する傾向にあるが、事務系では非正規雇用が相変わらず多く、雇用のミスマッチは続いている。企業の雇用条件、内容に変化はみられない。</li> </ul>
	新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>求人数は前年に比べると若干増加傾向であるが、夏以降は特に伸びてはならず横ばいである。</li> </ul>
	職業安定所（職員）	求職者数の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>有効求人倍率は横ばいが続いているが、新規求職者は増加している。退職理由別では、自己都合退職者が増加している。</li> </ul>
	職業安定所（職員）	求人数の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>求人数は増加しているが、内容的には派遣、請負といった非正規雇用の求人が増加している状況である。</li> </ul>
	職業安定所（管理部門担当）	求職者数の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規求職者は引き続き減少傾向にあるものの、より良い条件を求めての転職希望者は増加している。このことが求人数の増加に現れている。</li> </ul>
やや悪くなっている	求人情報誌製作会社（編集長）	求人数の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>中途採用の募集ニーズはやや減速している。</li> </ul>
悪くなっている	-	-	-